

ジェンダー平等・男女共同参画に関する職員アンケート（案）

【1】ジェンダー平等について

- 1 SDGs（持続可能な開発目標）の5に「ジェンダー平等を実現しよう」が掲げられていますが、「ジェンダー」の意味を知っていますか。
 - （1）意味を知っている
 - （2）性に関わることは知っているが、詳しくはわからない
 - （3）わからない

- 2 「ふじさわジェンダー平等プラン 2030～藤沢市男女共同参画計画～」が令和2年度に策定され、令和3年度から進捗管理が始まりました。「ふじさわジェンダー平等プラン 2030～藤沢市男女共同参画計画～」を知っていますか。
 - （1）内容を含め知っている
 - （2）名称は知っているが、詳しい内容はわからない
 - （3）プラン自体があることを知らなかった

- 3 「ふじさわジェンダー平等プラン 2030～藤沢市男女共同参画計画～」では、「共に生き、共に創ろう、未来につなぐ、ジェンダー平等のまち『ふじさわ』」を掲げ、6つの重点目標を掲げています。どの重点目標にもっとも関心がありますか。
 - （1）人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり
 - （2）あらゆる分野でのジェンダー平等の促進
 - （3）ワーク・ライフ・バランスの推進
 - （4）あらゆる暴力の根絶
 - （5）多様な性を尊重する社会づくり
 - （6）誰もが安心して暮らせる社会づくり

【2】重点目標1 人権を尊重したジェンダー平等の社会づくり

- 1 各分野において、男女の地位や立場はどのようになっていると思いますか。

- | |
|----------------------------|
| a : 男性の方が優遇されている |
| b : どちらかというとな男性の方が優遇されている |
| c : 平等になっている |
| d : どちらかというとな、女性の方が優遇されている |
| e : 女性の方が優遇されている |
| f : わからない |

- （A）社会や制度
- （B）社会通念・慣習・しきたり

- (C) 家庭
- (D) 職場
- (E) 学校教育
- (F) 地域生活
- (G) 社会全体

- 2 男女平等があらゆる分野で実現されるために、最も重要だと思うものは何ですか。
- (1) 法令や制度の見直しをおこない、性差別につながる内容を改めること
 - (2) 男女を取り巻くさまざまな偏見、固定的な社会通念・慣習・しきたりを改めると
 - (3) 家庭内において、男女がそれぞれの個性を発揮し、協力した家庭生活が営まれること
 - (4) 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得したりするなど、積極的に能力の向上を図ること
 - (5) 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること
 - (6) 官公庁・企業などの重要な役職や、議会において女性議員を一定の割合で登用する制度を推進すること
 - (7) その他
- 3 ジェンダー平等・男女共同参画社会を実現していくために行政が担うべき役割は何ですか。
- (1) 育児や介護に関するサービスの充実
 - (2) 学校教育や社会教育の場で、男女の人権を尊重する学習の充実
 - (3) 育児や介護を、家庭だけでなく地域や企業など社会全体で担っていく意識の醸成
 - (4) 法令や制度の見直しによる女性の不利益の改善
 - (5) 職場における男女の平等な扱いについての企業等への周知の徹底
 - (6) 就労条件の改善等についての企業等への啓発
 - (7) 政治・経済・社会など多様な分野で、活躍できる女性の人材育成
 - (8) 女性の就労機会の増加や職業訓練等の充実
 - (9) 行政の施策・方針を決定する審議会等委員への女性の積極的な登用
 - (10) 職員採用や管理職昇任に関し、女性の登用比率を定める
 - (11) 情報提供や総合相談、交流、女性の就労支援を行う拠点施設の充実
 - (12) 各国の女性との交流・協力の推進
 - (13) その他

【3】重点目標2：あらゆる分野でのジェンダー平等の促進

- 1 本市では、多様な視点や価値観に基づく社会づくりに向け、政策・方針決定過程への女性参画を促進するため、「審議会等の女性登用比率アップに向けた対応方針」を定めていますが、審議会等における女性の登用比率アップについてどのように考えますか。
 - (1) 政策・方針決定過程に女性が積極的に参画することが望ましいので、女性登用比率が高ければ高いほどよい
 - (2) 政策・方針決定過程に女性の参画を促進することは、多様な価値観に基づく社会づくりにつながると考えるため、男性と女性のバランスの良い比率になるよう取組を進めることが望ましい
 - (3) 女性の登用比率アップを図ることは必要であると感じるが、審議会の委員構成において優先順位は高くない
 - (4) 多様な視点や価値観に基づく社会づくり、性別は関わりがないので、女性登用比率の目標を定めること自体に疑問を感じる
 - (5) その他

- 2 「審議会等の女性登用比率アップに向けての対応方針」において、具体策として委員構成の変更や職務指定の緩和を例として示していますが、審議会等の事前協議において、対応が難しいとの回答が多くあります。対応を困難にしている理由は何だと思いますか。
 - (1) 法令により定められているため
 - (2) 女性の登用比率アップを目的として、条例や要綱を改正するのは難しいため
 - (3) 現在の委員構成や職務指定は、設置目的に適しており、変更するべきではないと考えるため
 - (4) 現在任用されている委員や推薦団体などに理解を得られないため
 - (5) その他

- 3 2021年12月23日付の「審議会等の女性登用比率アップに向けての対応方針」において、女性登用比率アップに向けた具体的な取組として、委員構成の変更や職務指定の緩和、男女比のバランスを考慮した推薦依頼を盛り込みました。具体的な対応の中での課題や効果的な事例がありましたら、記入してください。

- 4 自らの能力を発揮していきいきと働くために必要なことは何ですか。
 - (1) 出産、育児、介護にかかわる
 - (2) 休業・休暇を男女とも取りやすくする
 - (3) 労働時間を短くするなど調整して、男性も女性も仕事と生活（家庭や地域）の調和がとれるようにする

- (4) 昇給・昇格の条件となる教育を平等に受けられるようにする
- (5) パートでも、社員でも同一価値労働は、同一賃金にする
- (6) 職場でセクシュアルハラスメント、パワーハラスメント防止の人権教育を推進する
- (7) セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントなどを安心して訴えることができる相談窓口の充実を図る
- (8) 職場の意思決定の場に女性（男性）をもっと参加させる
- (9) 企業などにジェンダー平等・男女共同参画に関する啓発事業を行う
- (10) その他

【4】重点目標3：ワーク・ライフ・バランスの推進

- 1 働きたいと考える誰もが、その個性と能力を十分に発揮できるよう、働き方の見直しをはじめとして、男女が対等なパートナーとして働くことができるよう社会全体で支える必要があります。ワーク・ライフ・バランスを実現するために必要だと思うことは何ですか。
 - (1) 育児・介護休業制度の拡充や育児・介護休業を取りやすい就労環境
 - (2) 柔軟な就労時間や在宅勤務など多様な働き方が可能な就労形態
 - (3) 仕事優先の考え方を見直す
 - (4) 仕事以外の時間を多くもてるようにする
 - (5) 家族観の理解を深める
 - (6) その他

- 2 育児・介護休業の取得が進まない現状があります。その理由は何があると思いますか。
 - (1) 職場で不利益を受けるから
 - (2) 経済的な保障がないから
 - (3) 家族（特に女性）が面倒をみるべきだという社会通念があるから
 - (4) 使いにくい制度だから
 - (5) 男性が休業することに対する近親者やまわりの目があるから
 - (6) 取得日数に制限があり、長期化に対応できないから
 - (7) 制度の趣旨が分かりにくいから
 - (8) 手続きの仕方がわかりにくいから
 - (9) どこに相談したらよいかわからないから
 - (10) その他

【5】重点目標4：あらゆる暴力の根絶

- 1 配偶者等からの暴力（DV）をはじめ、虐待や性暴力といったさまざまな暴力は、重大

な人権侵害であり、ジェンダー平等・男女共同参画社会の実現を阻害するものです。あらゆる暴力を防ぐための行政の取組として、重要だと思ふことは何ですか。

- (1) 被害者が早期に相談できるよう、身近な窓口を増やす
- (2) あらゆるところで暴力を防止するための教育を行う
- (3) 加害者への罰則を強化する
- (4) 家庭内でも男女は対等であることの教育を推進する
- (5) 地域のつながりを深め、互いに見守れる社会をつくる
- (6) 暴力は人権侵害であるという広報・啓発活動を積極的に行う
- (7) 加害者に対し、再発防止のための教育を行う
- (8) 市職員に対する研修や啓発を行う
- (9) 被害者を発見しやすい警察や医療関係者などと情報共有を図る
- (10) 加害者が相談できる身近な相談窓口を設置する
- (11) その他

【6】重点目標5：多様な性を尊重する社会づくり

1 “共生社会の実現をめざす誰一人取り残さないまち（インクルーシブ藤沢）”の視点に基づき、誰もが多様な分野に参画し、互いに認め育て合う社会の実現には、性の多様性への理解と支援が不可欠です。本市では「LGBTからSOGIへ」セクシュアルマイノリティに対する考え方を変化させていますが、「LGBT(Q)」について知っていますか。

- (1) LGBT(Q)のそれぞれの意味を知っている
- (2) LGBT(Q)という言葉は聞いたことがあるが、詳しい内容は知らない
- (3) 知らない

2 「SOGI」について知っていますか。

- (1) 知っている
- (2) 聞いたことはあるが、詳しい内容は知らない
- (3) 知らない

3 昨年度から「藤沢市パートナーシップ宣誓制度」を開始しましたが知っていますか。

- (1) 知っている
- (2) 聞いたことはあるが、詳しい内容は知らない
- (3) 知らない

【7】重点目標6：誰もが安心して暮らせる社会づくり

1 性と生殖に関する健康を意味する「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」という言葉を

知っていますか。

- (1) 知っている
- (2) 聞いたことはあるが、詳しい内容は知らない
- (3) 知らない

2 女性の健康と尊厳の視点から、生理に伴う負担を軽減することを目的に、民間事業者と協定を締結し、無料で生理用ナプキンを提供する機器「OiTr」を本庁舎1階と3階の女性用個室トイレに各1台を設置しました。設置に対してどのように考えますか。

* 機器の設置や生理用ナプキンの費用は、ディスペンサーに搭載された広告動画費用を充当。

(自由記述)